

看護師たかこの

# すこやか生活

2019年11月

寒さを感じる季節になり、インフルエンザの流行がはじまりました。私は早速予防接種の予約をしました。みなさんも早めの対応をしてください。手洗いうがいの励行は必ずしましょう。子どもの歯磨きも忘れずにチェックしてください。歯磨きがインフルエンザの予防になります。

ラグビーワールドカップが終わりましたね。市街地は「ここはどこ？」というくらい外国人が多かったです。「祝祭の広場」にも多くの人が集まっていました。ビールがたくさん売れたそうです。こんなに欧米人が大分に来たのは、初めてではなかったでしょうか？



「別府もたいへんなにぎわいだった」と、別府住人が言っていました。地方の大分で、大会がスムーズに運営されたことが評価されたのか、来年もイングランド戦が予定されているそうですね。大分はますます国際色豊かになるかもしれません。

今回の大会を見て、私は日本を見直しました。日本チームのがんばりはもちろんでしたが、日本は「スポーツ観戦文化が未成熟」と言われていました。ところが、日本人の観戦に対し外国の方々から賞賛をいただきました。また外国人との交流も自然におこなわれていました。大分県の豊後高田では農泊が行われ、スマートフォンの翻訳アプリを使い、会話をしている姿が放映されていました。大分人も国際人の仲間入りのできたのかもしれない。いい時代になったと思いました。

小学校のころ父が四国旅行からの帰りの船のなかで、1人で旅行しているアメリカ人の女学生と知り合い、家へ連れてきました。その時私たちは身振り手振り、父は辞書片手に英語で話しておりました。ほんの短い時間でしたが、今でも覚えています。一人で旅行していることや、履物がサンダルだったことに驚きました。こんなちょっとした自然な交流が心に響きます。私は東南アジアでホームステイをしたことがありますが、いろいろな暮らしぶりに驚きました。様々な体験をとおすことによって、お互いを知ることができますね。

話は変わりますが、10月に大分県立美術館で浮世絵展があり、私は前期後期と2回行きました。大分でこんなにたくさんの浮世絵を鑑賞できたことに感激しました。浮世絵はヨーロッパの絵画にも影響を与えていますが、日本はヨーロッパから遠近法を学んでいました。日本人のち密な技法や色使いは驚くべきものがありました。「日本人はすばらしい」と誇らしく思った次第です。

ラグビーワールドカップといい、浮世絵といい、日本人再発見した日々でした。人はいいところを見て、いいところを伸ばせば個性豊かに育ちますね。

たかこ